土崎みなと歴史伝承館

土崎みなと歴史伝承館は、貿易・交易と商業の中心地として栄えた土崎の歴史を伝えている。 港の発展について、特に 1700 年代半ばから 1900 年代初頭にかけ日本海を商船が往来していた時代に焦点を当て、インタラクティブなパネルで説明している。また、別の部屋では、第二次世界大戦（1939～1945 年）末期の大空襲による被害の記録が展示されている。

この伝承館の一部では、土崎神明社の土崎港曳山まつりの説明もある。この祭りでは、武者人形を乗せた木製車輪の曳山を地元の人たちが曳いて町内を練り歩く。 館内には、高さ 11.5 メートルの復元された曳山が展示されている。 電線が敷設される前は、高さ 20 メートルを超える曳山を曳いていた。現在では、このような曳山を造ることはできなくなったが、博物館に展示されている記録や写真から、2016 年にユネスコの無形文化遺産に登録されたこの地域の祭りの壮観な様子をうかがい知ることができる。

土崎みなと歴史伝承館は、ポートタワーセリオンから徒歩約 15 分のところにある。